

京都大学ヨーロッパ学術調査隊 (第2次) 1969 F0121

あるく、ウメサオタダオ展



1969年 49歳のころ



ヨーロッパの大都会ではなく地方のひとは、どんな暮らしをしているか、何をたべているかといった日常生活を知るために、イタリア中部の山村とユーゴスラヴィア山岳地帯での生活を観察しました。一件ファイルには、そのときの計画書、準備会議資料、現地との手紙、案内パンフレット、現地で手にいれた資料、報告書の予定など、まさにこの件に関係したすべてのものが入っています。